

今回の特集は

家庭の防犯対策

教えてくれた人



セコム株式会社IS研究所
リスクマネジメントグループ
シニアリスクコンサルタント
濱田 宏彰さん

侵入窃盗を中心にあらゆる犯罪情勢の調査研究を続けていて、各方面に対しセキュリティコンサルティングを実施中。

今年の石川県の住宅侵入盗は昨年の2.5倍。「うちは何も盗られる物がないから」とか、「2階は窓を開けておいても大丈夫だろう」と思って油断していると泥棒に入られますよ。

住宅侵入盗とは

住宅侵入盗とは建物に侵入して金品を盗む犯罪のこと。3種類あります。



空き巣
家人の留守中に侵入



居空き
昼間、家人の在宅中に侵入



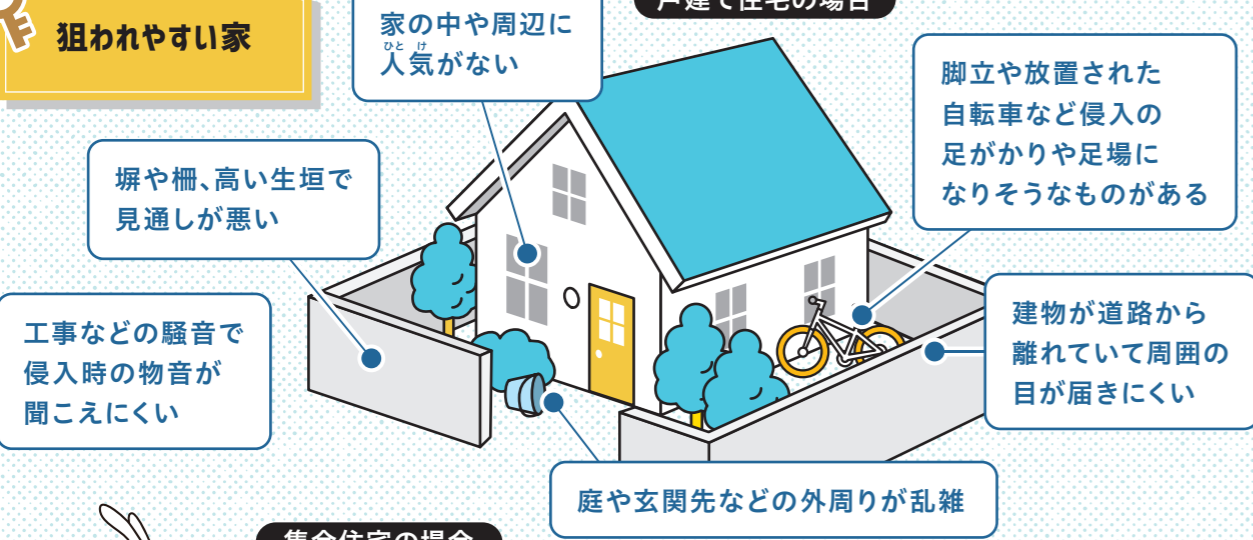
忍び込み
夜間、家人の就寝中に侵入

石川県は去年の2.5倍

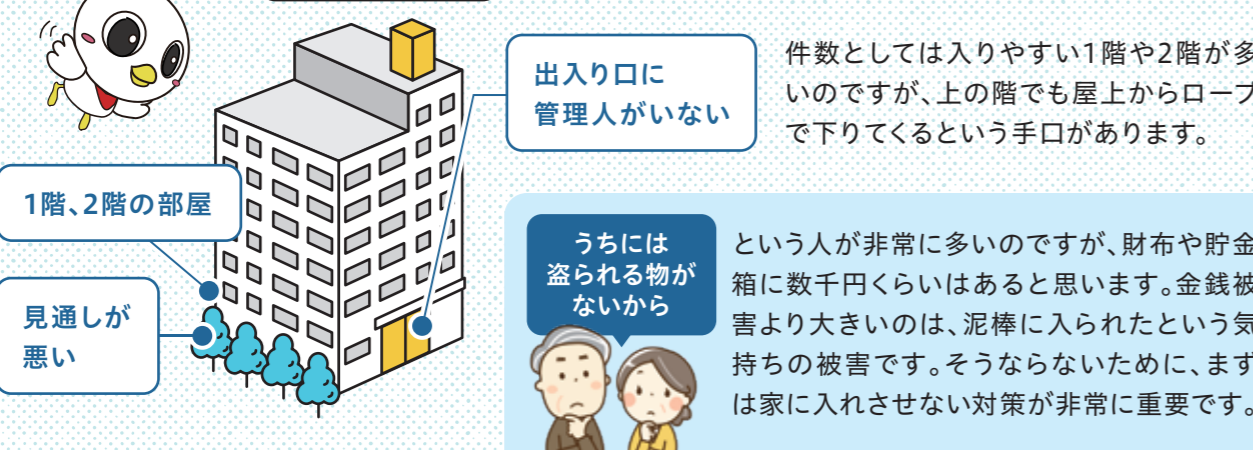
全国的にここ20年間ずっと犯罪は減り続けていましたが、去年から増えてきています。石川県では今年1~5月の侵入窃盗は194件。去年の同時期は78件なので、2.5倍となっています。件数としては人口の多い金沢市がトップですが、世帯割合比としてみると輪島市が多くなっています。

狙われやすい家

戸建て住宅の場合

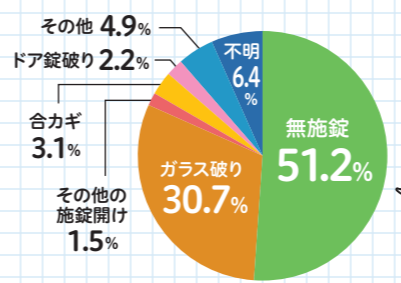


集合住宅の場合



侵入手口

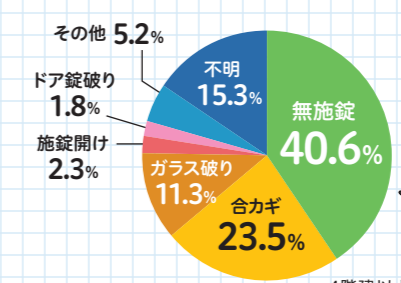
戸建て住宅の場合



最近は無施錠での侵入が半数を超えました。玄関だけでなく窓もしっかりとカギをかけてください。

注意 換気のために風呂場のルーバー窓を開けている家もありますが、過信してはいけません。あれは簡単に取れます。

集合住宅の場合

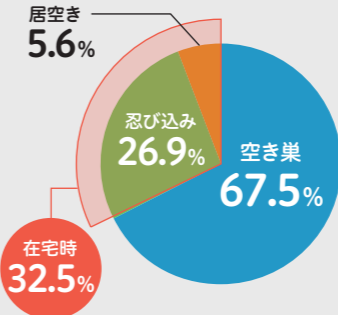


エントランスにオートロックがある場合も他の住人と一緒に入るなど意外と簡単に入れます。自宅玄関のカギは必須です。

戸建ての侵入手口と違うのは合カギによる侵入です。前の住人が使える場合も。新しく入居する場合はカギを交換しましょう。

在宅時の侵入が増加

近年は在宅時の侵入が増えています。家にいるときも玄関や窓はしっかりとカギをかけてください。窓を開けるときは目の届く範囲にしましょう。例えば、2階にいるときは1階の窓を開けっ放しにしないように。泥棒に入られて鉢合わせをすると危害を加えられる恐れもあるので、まずは入られないようにすることが大事です。ホームセキュリティに入るのも対策の1つです。



もし侵入されたら

基本的に抵抗するのは危険です。トイレや寝室などカギのかかる所に入り、警察などに通報して時間を稼ぎましょう。

金庫に入れておけば大丈夫?

小さな金庫は火事になったときに持ち出すためのものであり、泥棒対策にはなりません。盗めない仕組みの防犯金庫がおすすめです。

データ:警察庁 統計資料(令和4年)

見せる防犯

ほとんどの泥棒は侵入前に下見をします。その対象にならないようにすることが大切です。しっかり戸締まりがされている、外回りがきれいになっているなど、防犯意識が高い家であるという雰囲気を出しておきましょう。

対策いろいろ

- 車に輪留め**
- 自転車にカギとチェーン錠**
盗難防止・足場にさせないため
- 脚立はチェーンで柱などに固定**
侵入の足場にさせないため 移動できないように
- 窓に補助錠とサブロック**
- 周囲の視線を集める**
例えば窓辺やベランダに花があると、「あっ、きれいだね」と人が見上げる機会が多くなります。
- 留守でも人の気配**
人の気配があると侵入しにくいので、ときどき電気やラジオなどがつくような仕組みにしておくことも有効
- センサーライトの設置**
- 防犯砂利**

いくつか組み合わせて防犯意識をアピールしておくと、泥棒のターゲットから外れます。